

特集

コロナ禍における生協と地域と人々とのつながりや広がり ～コープしがの2020～

新型コロナウイルスの感染拡大以降、多くの県民のみなさんからコープしがに期待が寄せられ、生協への加入が広がりました。あわせて、組合員が生協をしっかり利用することによって、生協経営が安定するという協同組合のサイクルが大きく回りました。その結果、生まれた剰余金は、組合員へ還元するとともに、社会貢献活動の支援にも活用することができました。

コープしがでは、フードドライブや利用を通して地元企業などの支援に組合員とともに取り組みました。また新型コロナウイルスの影響で厳しい経営状況にある大学生協から、事務用品の購入や職員の採用を行うなど、協同し支えあう取り組みをすすめました。

コロナ禍で困窮する家庭や医療従事者への寄付支援

10月に滋賀県社会福祉協議会「滋賀の子どものほほえむ力サポート事業」へ組合員募金とコープしがから寄付金を合わせて102万5,875円を寄付しました。生活困窮家庭への社会支援に役立てられます。

12月に滋賀県「がんばる医療応援寄附」へ100万円を寄付しました。医療従事者の勤務環境や医療体制の充実・強化に役立てられます。



くらし応援ポイント還元の実施 (10/4回～3/3回)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厳しい組合員のくらしを応援するため、宅配やお店、コープでんきの利用に対して、くらし応援ポイント還元を実施しました。



みんなでがんばろうサポート基金の創設 (3/1回～6/3回)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、生活に困窮している方や医療従事者をサポートするための基金を創設しました。対象商品の利用点数に応じて、コープしがと生産者が1～2円を基金に積み立てる仕組みで、組合員は利用することで支援につながります。



シトラスリボンプロジェクトに賛同

新型コロナウイルス感染者やその家族、医療従事者などへの差別や偏見をなくして、人を思いやる、くらしやすい社会をみんなでつくるプロジェクトの趣旨に賛同し、組合員、総代、取引先、役職員などがシトラスリボンを着用し、賛同の輪を広げる呼びかけを行っています。



フードドライブの取り組み

「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」と協定を締結し、10月からコープのお店に、1月から宅配センターにフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みをはじめました。



県内の生産者を応援する取り組み

●県内福祉作業所応援企画の実施

新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止で、販路をなくした福祉作業所を応援するため、福祉作業所が手掛けるこだわりの商品を広報誌スパイラル7月号で企画しました。



●コープもりやま店での地元物産展(8/22～23)

外出自粛の影響で売上げが低迷する地元商店を支援するため、コープもりやま店では守山市を通じて地元商店の商品を企画しました。

